

はすてる

第19号
2018.1



蓮田市男女共生情報誌

編集委員／菅野由紀子 酒井めぐみ 小森豊政 高沢秀樹 石黒さおり
表紙挿絵／坂巻 和
発行／蓮田市役所総務部庶務課 〒349-0193 蓮田市大字黒浜 2799-1
☎048-768-3111 内線 296

男女共生を考える
～子ども達が考える男女共生社会とは？～

男女共生を考える

～子ども達が考える男女共生社会とは？～

男女共生社会の実現を目指した様々な取組がここ蓮田市でも行われています。市民による『ぱすてる』の編集も今回で19号を迎えることになりました。

一昨年は「男の子と女の子の今と昔そして未来へ～先生方から見た男女共生社会～」を取り上げ、学校教育の現場で取り組まれている男女共生についてまとめました。そして、昨年は「男女共生を考える～職場のコミュニケーション～」を取り上げ、会社や職場での大人達の取組の現状を探りました。そして、今回、ここ2年間のテーマを受ける形で子ども達の現状について「男女共生を考える～子ども達が考える男女共生社会とは？～」と題して子ども達が何を見て、どの様に感じて、どの様な未来を考えているのかを報告させていただきます。この『ぱすてる』の取組が、皆様のこれからの男女共生社会の発展に少しでもお役に立てれば幸いです。

家庭での生活について

Q どんなお手伝いをしていますか？

- お風呂掃除・食器洗い・トイレ掃除・お皿の用意・ゴミ出し・アイロンがけ・料理・洗濯物たたみ。

Q お父さんも皆さんと同じようなお手伝いをしていますか？

- アイロンがけはしない。
- 休みの日には料理をしてくれる。

…そんなお父さんを見ても「男なのに」とは思わない。

…自分も大人になったらやりたいと思う。

…「男なのに」とちょっと思う。

- ゴム付けなどの裁縫はやらない。
- 掃除機をかける。

低学年編

蓮田市立平野小学校



《参加者》

下山さん 矢部さん 岡田(唯)さん
友竹さん 荒井さん 岡田(琉)さん

Q ゴキブリ退治は誰がしますか？

- お母さんやお父さんがいる時でも自分が退治する。

学校での生活について

Q どんな係がありますか？

- 黒板係・配り係・体育係・掲示係・本係など。

…やりたい係に立候補することができる。

…男子でないと出来ない、女子でないと出来ないということは無い。

…体育係の仕事では、女子には少し軽いものをお願いする。

Q 行事での役割などはどうですか？

- 運動会の応援団長は、やっぱり男子がやった方がいいと思う。
- 音楽の指揮者や伴奏は女子がやった方がいいと思う。男子でもいいと思う。
- 鼓笛の指揮者は女子がやった方がいいと思う。3人も男子ならやってもいい。
- 大太鼓は男子でも女子でもいいと思う。

将来の生活について

Q 結婚についてはどう思いますか？

男子 パートナーには専業主婦でいて欲しい。

女子 パートナーには、時々でいいので洗濯物たたみなどをして欲しい。

男子 専業主夫もやってみたい。



Q 男性をイメージする職業は？

- 引越し屋さん・パイロット・配達員・コックさん・警察官・消防士。

Q 女性をイメージする職業は？

- 花屋さん・ケーキ屋さん・レストラン・マッサージ屋さん。

Q 将来やりたい職業は？

- 動物の飼育員・絵を書く仕事・本屋さん・レストラン・レジ・ゲームクリエイター・獣医さん。

まとめ

男女に関わらず、小学校低学年のうちから色々なお手伝いをしていると聞いて感心しました。

職業や役割については、やや男女のイメージがあるものの、昔に比べてそれほど性別に縛られていないように思います。子ども達と会話する中で、家庭での様子がとても影響していると感じました。家族が協力し合って生活することこそが、男女共生につながる大切なことだと思います。

高学年編

蓮田市立黒浜小学校



《参加者》

阿部さん 宇津木さん 加納さん 岸本さん
生木さん 小室さん 白寄さん 配島さん

家庭での生活について

Q お手伝いはどんな事をやりますか？

● ペットの世話・風呂掃除・ゴミ出し・掃除機をかける・家族のお布団を敷く・夕飯の配膳・食器を下げる。

◆ お姉ちゃんと交代でお風呂掃除したり、お兄ちゃんと一緒に洗濯物をたたむ、というお子さんもいました。自分から進んでやると家族に喜ばれるそうです。

Q 家での仕事の分担はありますか？

- うちのお父さんは、家事一切やりません。お母さん任せです。
- お母さんが仕事で帰りが遅くなる時は、お父さんが夕飯を作ります。
- ゴミ出しはお父さんの担当。休日のお昼ご飯もお父さんが作ってくれます。



◆ 共働きのご家庭では、家事は出来る方がやります。ただ、基本的には、お掃除、料理はお母さんが担当、というお宅がほとんどでした。

Q 「女らしく、男らしく。」と言われた事がありますか？

● 女の子らしい言葉遣いをしなさい、と言われた事もあります(食う、と言ってしまった時)。
● 男兄弟だからか、男らしくしなさいとは言われた事はありません。

● 自分も言われないし、周りでもあまり聞かないけど、女の子の方が言われそうなイメージがあります。

● マナーが良かったり、清潔な人は女らしいと思う。また、女の子が出来ない力仕事を手伝ってくれる時、男らしいと思う。



学校での生活について

Q 黒浜小独自の『会社づくり』とは何ですか？

- クラスのために、何かを取り組みたい人が立ち上げて、仲間を募り活動することです。
- …男子～マジック会社・毎週決まった時間、みんなにマジックを見せる。
- …男子～靴揃え会社・下駄箱の靴を揃える。
- …男女混合～レクリエーション会社・クラスの皆にアンケートとって、ロング昼休みの企画を決める。
- …女子～新聞会社・月2回ほど新聞発行。



● 仲の良い友達同士で会社をつくれるから、なんとなく男女分かれている。でも入りたい人がいれば男女関係なくメンバーになれます。

Q クラブ活動は？

- サッカー 男子のみ
- ボールゲーム ほぼ男子、女子1人
- バドミントン 男子 過半数
- マンガ ほぼ女子、男子3人
- 料理・手芸 ほぼ女子、男子1人
- 卓球 男女半々



将来の生活について

Q 結婚についてはどう思いますか？

女子 結婚はしたい。家の事は仕事の空いている時間で分担してやる。協力して半々でやるのがいい。

女子 料理はどっちがやってもいい。

女子 パートナーには働いてほしい。

男子 主夫は嫌だ、働いていたい。

男子 自分にお金がかかるから結婚はしない。

男子 結婚してもパートナーが仕事を続けていいと思う。



Q 将来の夢は？

● サッカー選手・野球選手・バレーボール選手・牧場経営・動画投稿(YouTuber)・幼稚園の先生。

◆ 職業によっては男女のイメージがあるけど、会社の社長、市長、議員、トラックやタクシー運転手、保育士など、男女関係なくやっていいと思う。本人の性格や特技を活かせれば、やりたいことやっていいという意見が多かったです。



まとめ

家庭でのお手伝い、様々なことをやるようです。中には自分から進んでやる子もいました。

学校では黒浜小の特徴でもある会社づくりは、個性ややる気を認め合い、発揮する場であるようです。

男女関係なく、クラスのためにできることを考えて、楽しく取り組んでいる様子でした。

結婚についても、漠然とですが、パートナーと協力するものという考えだそうです。家庭の様子をよく見ているなぁと思いました。



中学生編

蓮田市立黒浜西中学校



《参加者》

大塚さん 岸野さん 岡部さん
原田さん 大兼さん 本田さん

家庭での生活について



Q どんないしをしていますか？

- 母が専業主婦なので、自分はあまりいしはしないです。頼まれれば、食器洗いは小学校の時からやっています。
- 特に決まっているわけではないですが、猫を飼っているので、餌やりは気づいた時にやるようにしています。
- 母が大変そうな時は、自分から食事の後片付けをします。



Q 家事の分担はどうですか？

- 休日に父が料理をしてくれます。ハンバーグとかチャーハンとか…。
- 僕の父は掃除とゴミ捨てをしています。



- 料理するお父さんは、見ていてカッコいいと思います。
- ボタンが取れたら、裁縫するのはお母さん。お父さんがやったら出来上がりが不安。
- 虫退治はお母さん担当。家の壊れた所を直すのはお父さん。

学校での生活について



Q 男女の格差を感じたことがありますか？

- 例えば、生徒会立候補は女子の方が多く、前会長も女子でした。この学校はわりと男女共生ができていると思います。



- 何か役割を決める時も、男女関係なく、パパッと決められていると思います。
- 合唱コンクールの実行委員は女子が多いけれど、指揮者は男子もけっこういますね。ピアノの伴奏も男女とも活躍しています。実力で決めています。
- 修学旅行の班行動のプラン立てのリーダーシップは、どちらかという女子が多いです。行きたい場所の提案に男子が「どこでもイイよ」という感じです。



- 女子の方が活発です。だけど先生が怒る時は男子に対しての方が厳しく感じます。



将来の生活について



- Q 例えば、会社で同じことをやっても、評価が男性の方が上だったり、出世したり。社会にはまだまだそういう部分があると思います。どう思いますか？



- もし自分がそういう立場になっても、自分からは勇気がなくて反論できないと思います。
- 私も言えないけれど、頑張ってもらえるようにしたいです。

Q 将来の夢は何ですか？

- 映画を作りたい。それになれなくても、自分のやりたい事で仕事をしていたい。
- やりたい事がたくさんあって、まだ1つにしなければなりません。小さい子とふれあう事が好きなので、そういう仕事ができたらいいなと思います。
- 中学校の先生になりたいです。中学は部活もあるので自分の好きな事を両立できるからです。

Q 結婚後の仕事についてはどう思いますか？

- 女子 共働きで帰りが遅いと、夕ご飯を子どもだけで食べるのは寂しいと思います。専業主婦がいいです。



- 男子 日中、家に誰もいないと心配なので、働くのは僕だけでいいかな。
- 女子 どちらかが働けばいいと思います。
- 男子 パートナーにとって働きがいのある仕事をするなら、協力して続けられるようにしたい。

Q 子どもの学校行事の参加についてはどう思いますか？

- 授業参観は参加したい。子どもとふれあえる機会だから。
- 行きたい気持ちはあるけれど、仕事を優先するから行けないと思います。
- 私の父も来てくれて嬉しかったので、旦那さんにも参加してほしいです。



まとめ

中学生は学校で生徒会や係など、男女分け隔てなく決めるそうです。意見を自由に述べ、認め合える環境ができているようです。

将来の仕事については広い視野をもって、自分のやりたい事に挑戦したいとの意見があり、皆さん共感していました。



高校生編



埼玉県立
蓮田松韻高等学校



《参加者》

吾郷さん 有吉さん 三上さん
清水さん 吉田さん

家庭での生活について

Q お手伝いについて

- 女子** 決まっていないが、お風呂、皿洗い、お弁当作りなど。
- 男子** 役割分担はないが、やれる人がいないときに家事全般はできる。
- 週一くらいで料理をする。
- 最初は母に頼まれたことがきっかけですが、今は兄と当番制で料理をしている。
- 家族が少ないことが多いので、洗濯物、洗い物は自分でやっている。



Q 「男だから、女だから」など言われたことはありますか？

- 男子** 「男だから外で遊びなさい」とか、「勉強はそこそこでいいので、スポーツはできるように」と父に言われたことがある。
- 女子** 「女だから足を閉じなさい、あぐらはやめなさい」と言われたことがある。

学校での生活について

Q 役割について

- 体育祭の団長、副団長は男女決まっていないため、女子が団長のときもある。
- 生徒会役員は、男女決まっていない。現在の会長は女子、副会長は女男(必ず)。



Q 名前の呼び方について

- 男子** 男子は下の名前を呼び捨て。
- 男子** 女子は下の名前で〇〇さん。
- 先生にもよりますが、男の先生は女子を上の名前で〇〇さん、男子は下の名前で呼び捨て。
- 先生が怒ってるときは下の名前で呼び捨て。
- 女子** 女同士は下の名前で呼び捨て。あまり話したくない人には〇〇さん。
- 女子** 男子は下の名前で〇〇くん。
- ◆小・中学校では、上の名前で〇〇さんでしたが、なんとなく距離がある感じがして嫌だったので、意識して呼び方を変えた。という話もありました。



Q 掃除について

- 女子** 掃除は女子ばかりがやっている。男子はやらないで、ふざけていることが多い。先生がきたら、やっているふりをする。
- 男子** 女子がやってくれるから、いいやと思ってしまう。掃除はめんどくさい。
- 女子** 現在は女子のほうが、主導権があるように感じる。体力的には男子にはかなわないことが多いが、力が必要な時も、男子をよばない(男子はほとんど手伝わないので)。

将来の生活について

Q 就職について

- 男子** 国際関係…英語に関わる仕事。緑を育てるなどの人の役に立つ仕事がしたい。
- 男子** スポーツ整体師など人に関わる仕事。
- 男子** 美術系、カメラなどの仕事(外国に行きたい)。
- 男子** 駅員、交通運輸関係の仕事(安全と思いう出を売る仕事)。
- 女子** 事務系の仕事(一つのことには打ち込むのが好きなので、会社の一般事務がいい)。
- 女子** 事務系の仕事(接客が苦手で、いつでもニコニコしているのも苦手、自分の世界でパソコン作業をやりたい)。



Q 将来、結婚したら、パートナーに求めることは？

- 男子** 自分が好きな仕事をしている場合、仕事を続けたいので、奥さんだけに家事を任せるのではなく、手伝いたい。育児に関しても手伝えることに抵抗はないし、自分ができることは積極的にやりたい。
- 男子** 仕事が安定してから結婚したい。妻にはいつも明るく、近くにいてほしい。仕事はパートくらいにしてほしい。ただ、やりたい仕事があるならそれでも良いと思う。自分が家事を手伝うのは大丈夫なので、分担を話し合って決めたい。
- 男子** 仕事に関しては、それぞれにメリット、デメリットがある。共働きはお互いの時間がなくなるし、専業主婦(夫)では経済的に安定しないかもしれない。でも、家庭内は安定するような感じがする。そのときにならないと



わからないが、もし妻が、バリバリ仕事を望む人の場合は喜んで、自分が家事を引き受ける。



- 女子** 結婚前は、お互いが働いていると思うので、その時に、結婚後の役割分担について話し合いたい。
- 女子** 専業主婦がいい。夫には安定した仕事をしてほしい。仕事、家庭を大事にしてほしいし、食事を一緒にしたい。

まとめ

取材した皆さんは、ほとんどが家でのお手伝いをしていました。きっかけは様々ですが、家族を助けるためにしていて、感心しました。学校では、男子、女子共に性別によって呼び方を変えており、小・中学生の頃に上の名前で〇〇さんと統一していたころとは、違うものの、異性に対しては、意識しているようでした。職業に関しては、基本的には男女関係なく「向いている人がやればよい」というスタンスでした。しかし、男女それぞれの特徴をいかして、向いている職業も違ってくるのでは？という具体的な意見も出ていました。結婚後については、男子も積極的に家事や育児に参加したいと話しており、さすが高校生は将来のイメージをより鮮明に描いていて、頼もしく感じました。

編集後記



菅野

昨年度と同じメンバーで、『ぱすてる』の編集をさせていただきました。月に一度の編集ミーティングや取材など、それぞれの得意分野を活かしながら進めてきました。市長をはじめ、教育委員会、校長先生や先生方、そして、取材に協力してくれた児童・生徒のみなさんと時間のアレンジをしてくださった保護者の方々、みなさんのおかげで、無事に発行することができました。ありがとうございます。できるだけ多くの方に、手にとっていただけると嬉しいです。

酒井

子どもの観察眼はなかなか鋭い。周りをよく見てるなあ、というのが今回の取材の第一印象です。皆さん、結婚についての考え方や理想の働き方を、熱く、時には照れながら話してくれました。和気あいあいとした雰囲気の中で楽しく男女共生を考える座談会ができたこと感謝しています。ご協力いただいた生徒の皆さん、ありがとうございました。

小森

今回取材に立ち会い、話した中ですごく自分達の時代とのギャップを感じました。小学校低学年の頃からしっかり自分の意見をもって、やらなければいけない事をわかっています。中学生、高校生も男女問わず家庭を大事にしているようでした。私達大人も、子ども達を見習う事がたくさんあるように思いました。今回取材を受けていただいた方ありがとうございました。

高沢

目指す「男女共生社会」とはどんな社会なのか、自分自身への問いかけでもありました。将来を担う子ども達への教育がどの様に変化しているのか。会社や組織としての取組が、職場でどの様にいかされているのかいないのか。子ども達の意識がどの様に変わって来ているのかを知ることが出来ました。これからは、私自身の意識改革と実践を試みたいと思います。

石黒

私は、今回のような子ども達の意見を聞ける機会を楽しみにしていました。皆さんしっかりとした考えを持ってとても頼もしかったです。今回の取材で、まず私たち大人が手本となるような行動をすることが大切だと改めて感じました。子ども達はそんな姿を見て、どんなことでも抵抗なく、自ら進んで行動するようになるのだと思います。そうして自分の個性や能力を伸ばし、自立した大人へと成長して欲しいです。

エピソード

今回の子ども達への取材から、男性の役割、女性の役割的な考え方が今なお生き残っていて、日本の歴史や文化や地域性等が子ども達の意識の根底に受け継がれているように感じられたところもありました。しかし、全体的には「どちらの役割」と区別する考え方を強く持っていない印象でした。そして、男性も女性も積極的な気持ちで全員がどんどん社会に進出するべきだという捉え方もしていないように感じました。ただ、女性が社会に出て積極的に働く事を希望したときに、それが叶わない社会の仕組みでは困ってしまう。そんな男性、女性の枠組みによる差別がない、心のバリアフリーを実現した社会を目指し、能力を持っている人がどんどん活躍していることが自然に感じられる社会を作る事こそが、男女共生社会のあるべき姿なのではないか。子ども達は既にその姿を自然と感じられる下地を備えているのではないかと今回の取材を通して思いました。皆さんはどの様にお感じになりましたか。

ステキな表紙の作品を描いてくださった黒浜西中学校美術部の皆さん、ありがとうございました。



ご意見をお寄せください

「ぱすてる」では、今後載せてもらいたい内容、今回の内容に対するご意見・ご感想、男女共同参画全般に関するご意見などをお待ちしています。また、編集委員も募集しています。興味関心をお持ちの方、ぜひ参加してください。